

新型コロナウイルス感染症収束について(ご報告)

当事業所の運営につきましては、日頃より格別のご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

令和4年7月19日(火)、入所利用者お一人の陽性を確認し、一旦は令和4年8月8日(月)に通常運営再開予定でしたが、同日に別棟(寮)で陽性者を確認したため、感染症対策を継続(一部再開)しました。

最終的に利用者60名、職員24名が感染し、内3名の利用者が入院、1名が宿泊施設利用となりました。幸い長期入院や重篤な状態となる方はいませんでしたが、感染力の強さや感染対策していても陽性者が後を絶たない状況に、利用者様、ご家族様におかれましては、多大な不安とご不便をお掛けしました事を改めてお詫び申し上げます。

令和4年8月29日(月)より、一部停止していた通所利用を全面再開し、現在、感染者及び濃厚接触が一定期間確認されていない現状から、今回の感染症蔓延は収束したと判断いたしました。

しかし、感染リスクが「0」になったわけではありません。今後も感染者の確認や感染症が蔓延する可能性はあります。

保健所等の指導もあり、人の交流・交差を可能な限り避けること、感染対策の更なる徹底(認識の共有と持続含む)、健康管理の徹底(利用者・ご家族・職員・来訪者)等、今後も感染対策を強い思いで継続いたします。

利用者様、ご家族様には引き続きご不便をおかけすることがあると思いますが、施設に「感染を持ち込まない、持ち込ませない、持ち出さない、大切な人を感染させない」対策に努め、施設運営を停滞させない事が利用者様、ご家族様の利益になると感じておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回の感染症蔓延に対し、多大なるご不安とご不便をおかけしました皆様に深くお詫び申し上げますと共に、ご支援賜りました各関係機関の方々に厚く御礼申し上げます。

令和4年9月9日
社会福祉法人 更生会
障害者支援施設 榎山学園
施設長 中村 建司